

3月定例議会の審議結果

3月定例議会では、平成31年度の予算（2～5ページ参照）のほか、補正予算や条例改正などについて慎重に審議しました。ここでは主なものを紹介します。

補正予算

予算委員会を3月5日に開きました。審査の結果、すべての議案が全会一致で可決すべきものと決定しました。

小学校の空調設備増設

820万円

海田東小学校の通級指導教室、海田西小学校の通級指導教室及び日本語指導教室に空調設備を増設します。

小学校に目隠しフェンスを新設

1670万円

海田東小学校グラウンドのブロック塀（今回撤去）と海田西小学校プールのブロック塀（撤去済）の後に、新たに目隠しフェンスを設置します。



フェンスを新しくします(西小)

契約変更

公民館緞帳の整備

1000万円

織田幹雄さんの顕彰を行うため、刺繍をあしらった緞帳を作製します。

公民館建設工事

4000万円

一部の範囲で計画より基礎杭の長さが不足し工事費を追加しました。これにより、3か月程度の工期の延伸が生じますが、開館準備期間の短縮を図ることで2020年4月開館予定は変わりません。



新公民館ホール緞帳のイメージ図です

条例改正

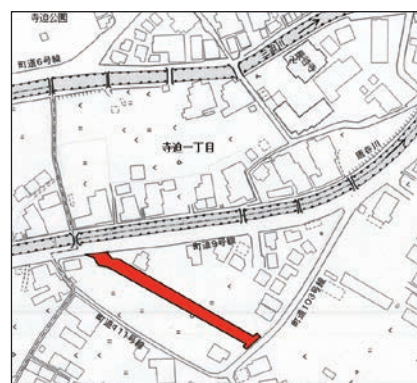
国民健康保険税が
変わります
【国民健康保険税条例】

平成30年度から国民健康保険の運営が県単位化されたことに伴い、保険税率を変更しました。
（2024年度までに統一保険税率に円滑に移行できるよう、段階的に見直されます。）

道路認定

町道349号線

寺迫2丁目地内の道路について新たに町道認定しました。



開発で造られた道路です

発議

町立中学校の完全給食実施に向けての要望決議案を可決

本町の町立中学校は、昼食について弁当を持参することとしているが、昨今の社会情勢の変化や就労形態の多様化など様々な要因により中学生を取り巻く生活環境が大きく変化している。

全国でも中学校における完全給食の実施については、実施率は年々上昇している。

海田町においてもすべての生徒に同じものを提供する完全給食の実施が必要であり、早期に実現するよう強く要望する。



消費税増税や保険料増額に 討論続出！

本議会では、保険料などの増額に関する議案への討論が多くありました。

国民健康保険税条例

反対討論

激変緩和措置終了後に必要な医療が受けられない世帯が増えることが予想される。

岡田良訓 議員

賛成討論

県単位化は安定的な運営のため必要と考える。

富永やよい 議員

一般会計

反対討論

消費税増税分がそのままだと町民の負担となる。増税を中止すべき。

佐中十九昭 議員

賛成討論

消費税増税は国の決定事項なので反対する理由にならない。

宗像啓之 議員

反対討論

県から広島市東部地区連続立体交差事業の認可がないのに、庁舎建設事業の予算が計上されており、時期尚早である。

兼山益大 議員

賛成討論

既に新庁舎の用地取得費は債務負担行為の議決を得ており、予算計上は当然のこと。

下岡憲国 議員

国民健康保険特別会計

反対討論

町民の命と健康を守るためには、国の国庫負担を増やし、一般財源から繰り入れすべき。

佐中十九昭 議員

賛成討論

県単位化での安定した運営は、今後も制度を維持するためには必要。

小田久美子 議員

後期高齢者医療特別会計

反対討論

高齢者だけの医療制度であり、負担増で生活は厳しさを増している。

岡田良訓 議員

賛成討論

持続させていくためには応益負担での財源確保は必要不可欠。

大江康子 議員

総務文教委員会から、委員会提出議案がありました。（全文は、海田町議会ホームページの「意見書・決議」からご覧になれます。）



反対討論

多忙でも親が愛情をもって弁当作ること、その背中を見て、子どももその愛情を感じる事ができる。また手続きにも問題がある。

宗像啓之 議員

賛成討論

中学校の3年間も給食を求める声が多くある。行政はそういった声に応える責任がある。

富永やよい 議員

反対討論

委員会提出議案として、調査不足である。センター方式以外の検討も十分にすべきである。

住吉秀公 議員